

山形県道路脱炭素化推進計画の概要

令和8年3月
山形県 県土整備部

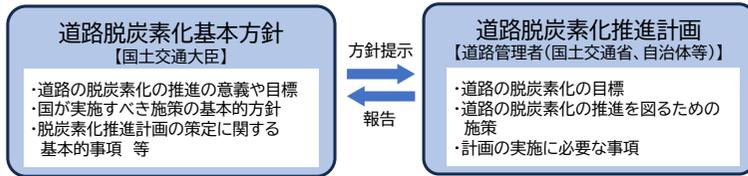
1 経緯

令和2年8月 山形県が、2050年まで温室効果ガス実質排出ゼロを目指す『ゼロカーボン やまがた2050』を宣言



【現状】 国内のCO₂排出量の約**18%**が**道路分野**からの排出

- 令和7年10月
- 改正道路法が施行され、基本理念において「道路の脱炭素化」の推進を位置付け
 - 国土交通大臣が定める「道路脱炭素化基本方針」を策定
 - 基本方針に基づき、道路管理者が「道路脱炭素化推進計画」を策定し、脱炭素化を促進する枠組みを導入

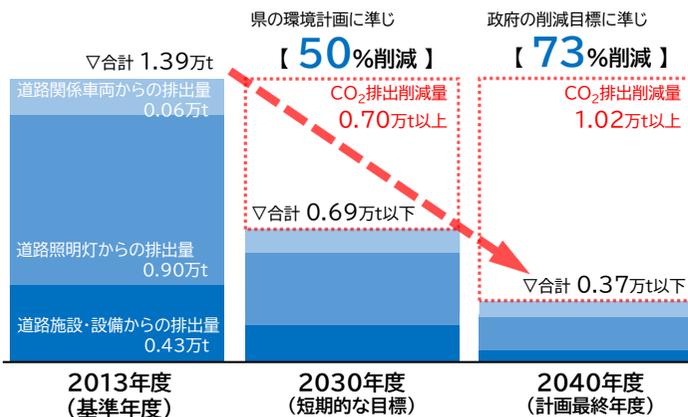


令和8年3月 「山形県道路脱炭素化推進計画」の策定及び公表

2 CO₂削減目標

【道路管理分野の削減目標】

※基本方針に基づき、「道路管理分野」について具体的なCO₂削減目標を設定



3 取組内容

道路管理分野

- 取組1** 道路関係車両の次世代自動車化
- 取組2** 道路照明のLED化
- 取組3** 再生可能エネルギーの活用

- 取組4** 除雪作業の効率化
- 取組5** 地下水・温泉水を活用した無散水消雪

道路整備分野

- 取組6** 低炭素アスファルトの導入
- 取組7** 低炭素建設機械の導入
- 取組8** ICT技術の活用
- 取組9** 低炭素材料の導入

道路利用分野

- 取組10** 渋滞対策の推進
- 取組11** 高速道路の利用促進
- 取組12** 脱炭素に資する道路整備
- 取組13** 自転車利用環境の整備推進
- 取組14** 快適な歩行空間整備
- 取組15** EV利用環境の整備促進

取組の概要

山形県の特性を活かした取組

取組の概要	指標		
	2013年度	2030年度	2040年度
取組1 道路関係車両の次世代自動車化	電動化率 0% CO ₂ 排出量 0.06万t	17% CO ₂ 削減量 0.00万t	67% CO ₂ 削減量 0.01万t
取組2 道路照明のLED化	LED化率 0% CO ₂ 排出量 0.90万t	100% CO ₂ 削減量 0.49万t	100% CO ₂ 削減量 0.49万t
取組3 再生可能エネルギーの活用	再生エネルギー率 0% O ₂ 削減量 -	20% CO ₂ 削減量 0.22万t	60% CO ₂ 削減量 0.59万t
削減量合計 (削減目標の達成に向けて削減目標を上回る値を設定)			
	-	0.72万t	1.09万t
取組4 除雪作業の効率化	除雪作業のICT活用 0路線	3路線	10路線 (春期除雪が必要な路線を中心に)
取組5 地下水・温泉水を活用した無散水消雪	整備延長 地下水活用 約15km 温泉水活用 0.6km	地下水活用 約22km 温泉水活用 1.1km	今後検討
取組6 低炭素アスファルトの導入	導入工事件数	0件	10件/年 20件/年
取組7 低炭素建設機械の導入	導入工事件数	0件/年	5件/年 今後検討
取組8 ICT技術の活用	活用工事件数	0%	80% ほぼ全工事で活用
取組9 低炭素材料の導入			・2030年度まで試験施工を検討 ・2040年度までCO ₂ 削減効果と汎用性のある資材の本格導入
取組10 渋滞対策の推進	主要渋滞箇所の対策実施箇所数	0箇所	18箇所 26箇所
取組11 高速道路の利用促進	利用率	5%	11% 今後検討
取組12 脱炭素に資する道路整備	完成工事件数	0件	3件 7件
取組13 自転車利用環境の整備推進	整備延長	0km	772km 整備後の維持管理
取組14 快適な歩行空間整備			・2030年度まで導入検討 ・2040年度まで人中心の道路空間整備を促す。
取組15 EV利用環境の整備促進			・道の駅設置者や運営管理者に対し、継続的に補助金などの情報提供

その他の取組

- 道路占用制度を活用した道路区域内への脱炭素化施設などの検討
- エコドライブやモビリティ・マネジメントなどによる意識の啓発

- 新技術や情報通信技術の導入検討
- 年度毎のフォローアップや計画の見直し

